

やさしさと香りのある暮らし

Sanders Perry Garden

サンダース・ペリー・ガーデン



体が喜ぶ美味しいレシピ

食べて肌を育む

肌育ビューティー

肌育ビューティー

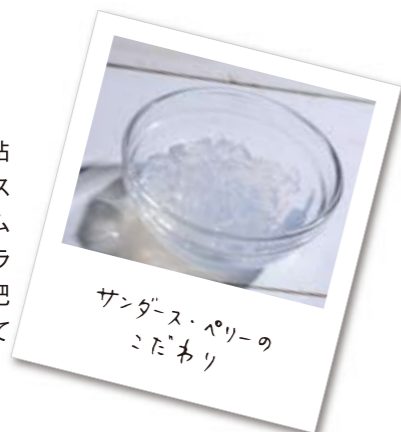
サンダース・ペリー化粧品では、健康肌へと育む“肌育ビューティー”を提案しています。化粧品づくりにおいて最も重要な要素である植物成分についてご紹介します。

創設者ロナルド・ジョン・ハリントン は、人体の組成（血液やリンパ液など）が海水の組成に似ていると考え、海洋植物である寒天に着目し研究を重ねた結果、寒天の凝固力が非常に高く（1リットルの水を固めるために必要な寒天はわずか10g！）、併せる原料によってはゲルの強度が変わることを発見したのです。“ふわふわ”で不思議な使用感は、寒天だからこそ得られる癒しの感触なのです。

「ふわふわ」「ふわふわ」をつくっているのは『寒天』です

1 寒天の効果

寒天は、赤藻類（天草など）に含まれる粘性物質を抽出したものです。80%がアガロースという食物繊維からできていて、カルシウムやマグネシウムなど、豊富なミネラルがバランスよく含まれています。血圧を下げる、肥満を防ぐ、便秘を解消するなど、食品として身体にやさしい効果を持っています。



サンダース・ペリーのこだわり

2 製品への応用

- ◎モイストチュアネット
たくさん水を抱え込む寒天の性質を活かした、高い保湿効果
- ◎新乳化法
合成界面活性剤を使わない、安全で安心な自然化粧品の実現
- ◎フレッシュカプセル
寒天繊維が、一緒に配合する成分をフレッシュな状態でキープ



3 肌への効果

寒天に含まれるミネラルは肌にも様々な働きがあります

- ①バリア機能を十分に果たせる、丈夫な肌環境をサポート
- ②ダメージを受けた肌をいたわるケア
- ③天然保湿因子(NMF)類似の高い保湿効果

Recipe

春野菜のサラダ・サンフラワーマヨネーズ

○サンフラワーマヨネーズ

[材料] 作りやすい分量

卵黄	2個分
レモン汁	大さじ2
ヒマワリ油	1・1/2カップ
塩、こしょう	各適量

○春野菜のサラダ

[材料] 2人分

茹でエビ	6尾
茹で卵	1個
菜の花	6本
グリーンアスパラガス	4本
ルッコラ	8本
クレソン	4本
マロンレタス、レタス	各3枚
ディル、フライドオニオン	各適量
ブラックオリーブ(種なし)	4個
塩	適量

[作り方]

①サンフラワーマヨネーズを作る。
ボールに卵黄と塩を少々入れ、泡立て器でしっかりと混ぜる。もったりとし泡立て器で線がかかるほどになったら、レモン汁を半量加え、さらに混ぜる。ヒマワリ油を糸状で少しずつ加えながら混ぜ、白っぽくなり、もったりとした固さになったら、残りのレモン汁を加え混ぜ、塩、こしょうで味を調える。

②サラダの準備をする。
茹でエビは殻をむき、茹で卵は縦4等分に切る。ブラックオリーブは輪切りにする。菜の花とグリーンアスパラガスは根元を切り、塩を加えた熱湯で茹で、水にさらして水気を切り、食べやすい長さに切る。他の野菜も、食べやすい大きさに切り、水にさらして水気を切る。器に盛り、フライドオニオンを散らしてディルを添える。

ふんわりストロベリーデザート

[材料] 作りやすい分量

いちご	5個(100g)
粉寒天	2g
水	2/3カップ
卵白	1個分
グラニュー糖	40g
ミント	適量

[作り方]

- ①いちごはヘタを取り、固形分が多少残る程度まで、フードプロセッサーにかける。
- ②鍋に寒天と水を入れて火にかけて、混ぜながら寒天を溶かす。
- ③沸騰したら火加減を弱め、さらにかき混ぜながら2～3分煮て半量のグラニュー糖を加え、グラニュー糖が溶けたら火からおろし、粗熱を取る。
- ④ボールに卵白を入れて、残りのグラニュー糖を2～3回に分けて加えながら、ツノがしっかりと立つまで泡立てる。
- ⑤④に③を少しずつ加えながら、卵白の泡を消さないように、ふんわりと混ぜ合わせる。
- ⑥①を加えて均等になるように混ぜ合わせ、ラップをして冷蔵庫で1時間ほど冷やす。
- ⑦スプーンですくって器に盛り、ミントを添える。

美肌効果のあるビタミン、ミネラルが豊富な菜の花やグリーンアスパラガスなど、旬の野菜をサラダに仕上げました。お肌の保護や改善作用に優れているビタミンEが豊富なヒマワリ油に、ビタミンCたっぷりのレモンを合わせて作ったマヨネーズでいただきます。ヒマワリ油の香ばしさが食欲をそそり、見た目も楽しめる、お肌が喜ぶ主役サラダ「春野菜のサラダ・サンフラワーマヨネーズ」の完成です。

デザートは、ビタミンCたっぷり、旬のフルーツいちごをメレンゲと合わせた、ふわっとした食感で口溶けのやさしい「ふんわりストロベリーデザート」。食物繊維が豊富な寒天を使用して、お肌や体調改善のデザートに。野菜をたっぷりといいただいたあとに、フーッと一息ついてください。



食べて肌を育む

サンダース・ペリー流“体が喜ぶ美味しいレシピ”



Cローションのパック使いで 浸透力アップ!

1日1〜2回の「Cローション&インディアン5分間パック」が、肌を安定させ敏感になりにくい状態をキープします。不安定な肌や敏感肌にオススメの、Cローションとインディアンエルクムのセット使用で、肌力を強化しましょう。この季節は、朝晩の習慣にするとより効果的です。

やさしく潤すケア

カレンドラエキス配合で、不安定な肌状態を整えます。

C ローション 120mL 4,200円(税込)

[カレンドラ]

キンセンカ、マリーゴールドとも呼ばれるキク科の耐寒性の1年草。鮮やかな黄金色は美しく、ほのかに甘い香りを嗅ぐだけでも、元気が出てきそうです。赤ちゃんのスキンケアにもよく使われるくらい、デリケートな肌にやさしい成分です。

保護するケア

保護力に優れたアカハルニレや漢方でも知られるオウゴンエキス、甘草フラボノイドなどを配合し、肌を守ります。

インディアンエルクム ファンデーション 75mL 4,750円(税込)

[アカハルニレ]

アカハルニレの樹皮を粉砕した粉末で、粘液質に富み、保湿力が高く、肌あれからお肌を守ります。

[オウゴンエキス]

オウゴン(コガネバナ)の根から抽出した、フラボノイドを多く含むエキスで、肌を守る効果に優れています。

[甘草フラボノイド]

甘草(カンゾウ)の根や根茎から抽出され、日焼けによる乾燥や肌あれを防ぎます。



1 コットンドライマスクにCローションをたっぷり含ませます(10mL程度)



2 コスメリストをした後の肌に1のマスクをお顔にのせて5分



3 コットンドライマスクを剥がして、折りたたんで軽くパッティング



4 Cローションをしっかり馴染ませたら、インディアンエルクムファンデーションを重ねつけてハンドプレス

Beauty Topics

この春はサンダース・ペリーと花粉対策

春は、環境の変化によるストレスや睡眠不足などによりホルモンバランスが崩れやすく、肌が不安定になりがち。とくに花粉症やその予備軍など、不安定な肌になりやすい方は、簡単に続けられるお手入れと、野菜や果実など、バランスのとれた食事が大切です。植物の力で不安定な肌になる前の対策をサンダース・ペリーと始めましょう。

サンダース美人の定番!

お手入れ編

この季節はオールマイティーなレスキューローションとして大活躍!

コスメティックローション

120mL/4,200円(税込)
主な精油/タイム、ティーツリー



コスメティックローションを『コスメリスト』として、ミニボトルで持ち歩き

化粧直しに

花粉がついたままでの化粧直しは、肌も傷つきやすく更に汚れやすい状態に。始める前にコットンにたっぷり含ませ、軽く全体を拭き取って。目の周りは、外出から戻ったら拭いておくだけでも、花粉を除去でき効果的。

アロマミストとして

コスメティックローションに配合されている精油“ティーツリー”は、清潔感がありスッキリとした香りが、寝不足や花粉症などでモヤモヤした気分をリフレッシュさせてくれます。香りのあるローションは気持ちが癒され、肌も保湿する優秀な持ち歩きミストローションとして。

鼻まわりの洗浄に

鼻をかむ前に、コットンに含ませたローションで軽く鼻まわりを拭き取ってから。乾いたままだと周囲に着いたホコリや花粉が舞ってしまい更に吸い込む原因に。

[注意]ミニボトルに詰め替えたローションは1週間以内に使い切りましょう!コットンなどに含ませて持ち歩いた場合は、当日使い切りに。

春にオススメの精油

香り編

Tea tree [ティーツリー]

オーストラリアの先住民が古くから愛用してきた生命力の強い植物。清潔感あふれるクールな香りです。全身や空間をクリーンに保つ働きがあり、インフルエンザや花粉の流行の時期には心強い味方です。

Lavender [ラベンダー]

ラテン語で「洗う」という意味のワラーレが語源。優雅で爽やかな香りは、古代ローマ人も魅せられ、レスキューアロマとして、薄めるとリラックス、濃いめに使うと強壮・活性など幅広い使い方が伝えられています。



※このページの表記は、精油の一般的な性質を述べたものであり、商品の効果・効能を示すものではありません。